

# 「ふくすいき ~福水企~」通信

令和8年1月号



企業団キャラクター  
ピュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課  
福岡市南区清水四丁目 3-1  
TEL 092-552-1731(代)

## ■ 令和8年新春のご挨拶

企業長 なごや 名古屋 やすゆき 泰之

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、令和8年の新春を健やかに迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、当企業団の主要な水源である筑後川では、昨年9月以降、少雨傾向が続いており、当企業団関連ダムの貯水率も昨年比べて大幅に低下しております。このため、海水淡水化センターでの生産水量を増やすなど、ダムの貯留水を温存するための対策を講じてまいりましたが、貯水率は31%と、依然として厳しい状況が続いております（令和8年1月9日時点）。このような状況を受け、令和7年12月2日に異常少雨対策本部を設置し、関係機関と連携しながら、さらなる対応に努めているところです。

皆さまには、日々の生活の中で節水にご協力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。今後も引き続き、節水へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年も8月に熊本県などにおいて豪雨災害、12月に青森東方沖地震が発生するなど、近年災害が頻発化しており、私たちの生活基盤に大きな影響を及ぼしております。当企業団では、こうした災害リスクに備えるため、国の関係機関や自治体と連携し、福岡導水における地震対策事業をはじめとした各種の災害対策を着実に進めております。

また、令和7年8月より、海水淡水化センターでは、日本初となる『浸透圧発電』の運転を開始しました。これは、同センターから排出する濃縮海水と下水処理水の塩分濃度差を利用して電力を生み出す新たな取り組みです。この取り組みは、国の『循環のみち下水道賞』を受賞し、職員一同大きな喜びとともに、今後の励みとなっております。これからも温暖化対策の推進への取り組みを進めてまいります。

令和8年度は『第15次財政収支計画（令和9～12年度）』の策定を予定しております。近年の物価高騰等に伴う費用の増加、水道施設の耐震化及び老朽化対策への対応など、厳しい経営環境が見込まれますが、都市圏の暮らしを支える『安全で良質な水道用水を安定的に供給する』という使命のもと、水源地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、これからも職員一丸となって事業に取り組んでまいります。

本年が皆さまにとって、健康で実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## ■ 企業団・構成団体の動き

### ●筑後川の水を利用されている皆様へ『節水』についてお願い

福岡都市圏の水道水の約3分の1は筑後川からの水によって賄われています。

9月以降まとまった降雨に恵まれておらず、ダムからの放流が続く、ダムの貯留水も日々減少しています。

福岡都市圏の皆様におかれましては、限りある水資源の有効利用のため、水をより大切に使用して頂きますよう、ご協力をお願いいたします。

(参考) 水源状況リンク

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

(参考) 家庭での節水リンク

[https://www.ktr.ml.it.go.jp/river/bousai/river\\_bousai00000060.html](https://www.ktr.ml.it.go.jp/river/bousai/river_bousai00000060.html)



### ●筑後川水道三企業団協議会 三部会事業報告会【開催しました】 〔12/12（金）久留米シティプラザ〕

福岡県南広域水道企業団、佐賀東部水道企業団及び当企業団で構成する筑後川水道三企業団協議会には、水質・工務・事務の三つの部会が置かれており、各部会においてそれぞれ専門分野に関する調査研究等を行っています。

各部会の活動成果を今後の業務に活かすことを目的とした事業報告会が、久留米シティプラザで開催され、各企業団から総勢38名が参加しました。

まず、各部会から1年間の活動報告が行われ、当企業団施設課の岩下係員からは、工務部会が行ったシールド工法の現場見学等の報告がなされました。

続いて、令和7年10月の日本水道協会全国会議で発表された発表論文から、『汚泥起因の残留塩素低下再発防止マニュアルの策定とその効果』（当企業団水質センター：藤井係長）、『粉末活性炭による有機フッ素化合物（P F A S）の除去に関する調査』（福岡県南広域水道企業団）、『R B式フラッシュミキサーの導入』（福岡県南広域水道企業団）の3件の報告があり、今後の活動への期待も高まり、充実した時間となりました。

<総務課 後藤>



事業報告会

### ●安否確認サービス『ぶじっ』による安否確認メールテスト〔12/22（月）【実施しました】企業団内〕

当企業団では、災害等の発生時に職員の安全確認を円滑に行うため、インターネットを利用した安否確認サービス『ぶじっ』を導入しています。このシステムは、地震や津波の発生時に、事前に登録されたメールアドレス宛に安否確認メールが送信され、職員自身の安否の登録や、安否情報の一覧が確認でき、対応の迅速化につながります。

12月22日、九州北部地方で地震が発生した想定で安否確認メールのテスト送信を実施し、職員の災害対応への意識向上を図りました。

＜総務課 坂田＞

### 【訓練イメージ】



### ●令和7年度企業団定期監査講評〔12/23（火）企業団会議室〕

定期監査は、令和7年7月23日に事業概況聴取を行い、8月4日から10月31日にかけて各課の事務・工事等の書類審査及び実地調査を実施しました。

この定期監査の講評が12月23日に行われ、大森 一馬 おおもり かずま 代表監査委員(福岡市議会議員)から「地方公営企業法に基づき、財務に関する事務の執行及び工事等は適正に行われ、また、諸帳簿、設計書等の関係書類についても、規程・取扱要領等に従って作成され、その処理状況はおおむね良好」との総括意見がありました。

これを受けて、企業長より「今後とも、経済性・公益性を基本とした効率的な事業運営に努める」との決意表明を行いました。

＜監査事務局 森＞

### ●令和7年第4回 福岡地区水道企業団 幹事会【開催しました】〔12/24(水)企業団運営協議会室〕

当企業団の構成団体(6市7町1企業団1事務組合)の水道関係の部課長を委員とする令和7年第4回幹事会を開催し、令和8年第1回議会(定例会)に提出予定の議案などを説明しました。

＜総務課 島崎＞



スクリーンを活用して説明

### ●福岡地区水道企業団議会議員の退任・就任

第2区(筑紫地区)選出の 門田 直樹 かどた なおき 議員(太宰府市)が、令和7年12月11日付で企業団議会議員を退任され、後任として、第2区から 小畠 真由美 おばた まゆみ 議員(太宰府市)が令和8年1月1日付で企業団議会議員に就任されました。

＜議会事務局 森＞



小畠 真由美 議員



## ●管路の耐震化（管路整備事業）に係る工事の紹介について

当企業団では、大規模地震に備えた耐震化等を目的とした、管路整備に取り組んでいます。現在は、バックアップ機能を高めるため、耐震管を使った管路の二重化を進めています。警固断層帯を横断・並走する区間については、既に整備が完了し、令和4年度から供用開始しています。その他の区間についても、鋭意整備を進めており、一日も早い完成を目指しています。

現在、施工中の工事の中でも、特に工事規模の大きい特徴的なものをご紹介します。この工事では、道路を掘ることなく、地中に管を押し込んでいく『推進工法』と、地中にトンネルを構築する『シールド工法』の2つの工法を採用しており、交通や周辺環境への影響を最小限に抑えながら作業を進められるのが特徴です。

これからも、地域の皆様が安心して暮らせるよう、着実に整備を進めてまいります。

工 事 名：粕屋系送水管布設工事(その1)

工事概要：送水管の新設：口径 700 mm 工事延長 1,762m

（内訳） 推進工法：口径 1100 mm 延長 704m

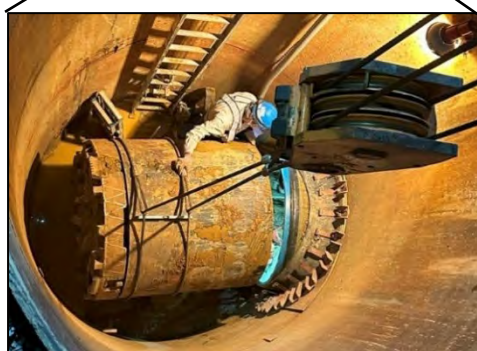
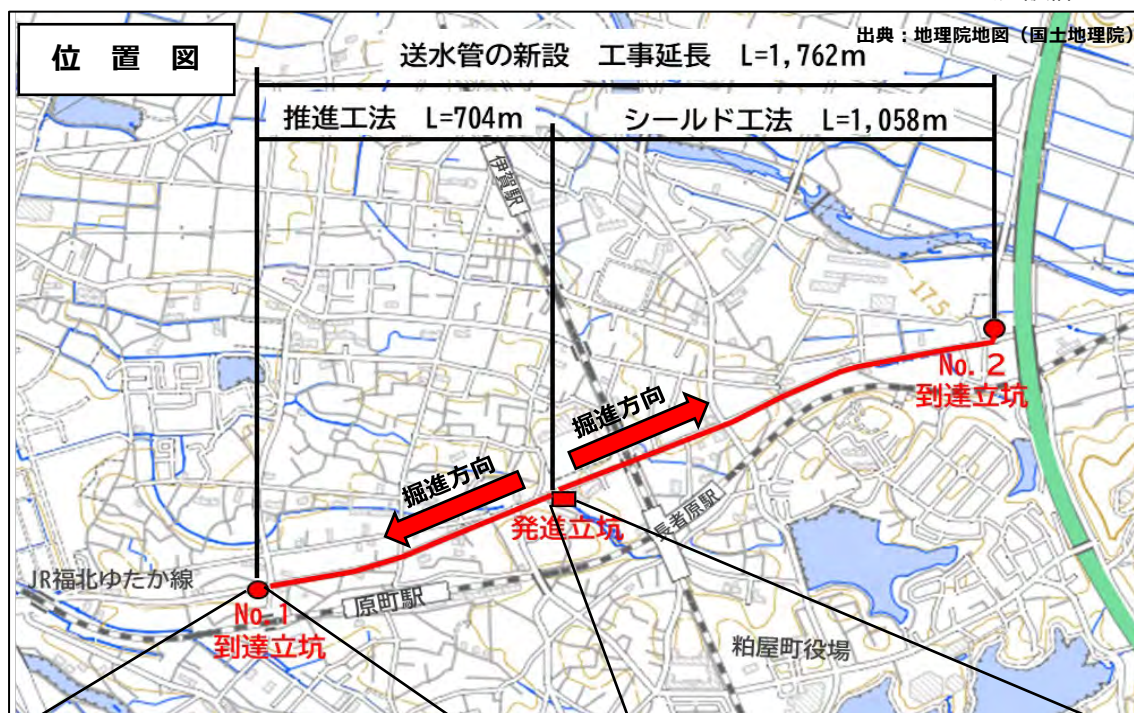
シールド工法：口径 1100 mm 延長 1,058m

工事場所：福岡県糟屋郡粕屋町若宮1丁目地内外(位置図参照)

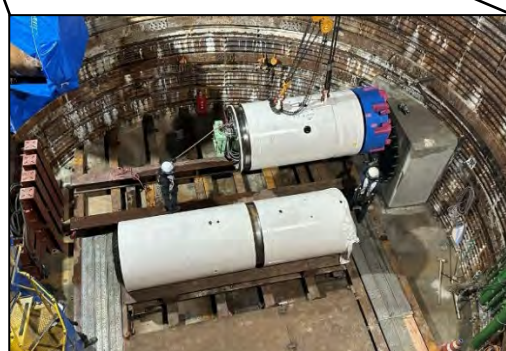
工事期間：令和5年12月5日から令和9年3月15日まで

施工状況：令和7年1月<sup>たてこう</sup>から推進工法による掘進(推進機で地中を掘り進めること)を開始し、令和7年6月に到達<sup>たてこう</sup>立坑に推進機が到達しました(写真①)。その後、推進管内に送水管を設置するとともに、発進立坑をさらに掘り下げ、令和7年12月にシールド工法による掘進を開始しました(写真②)。

<施設課 大野>

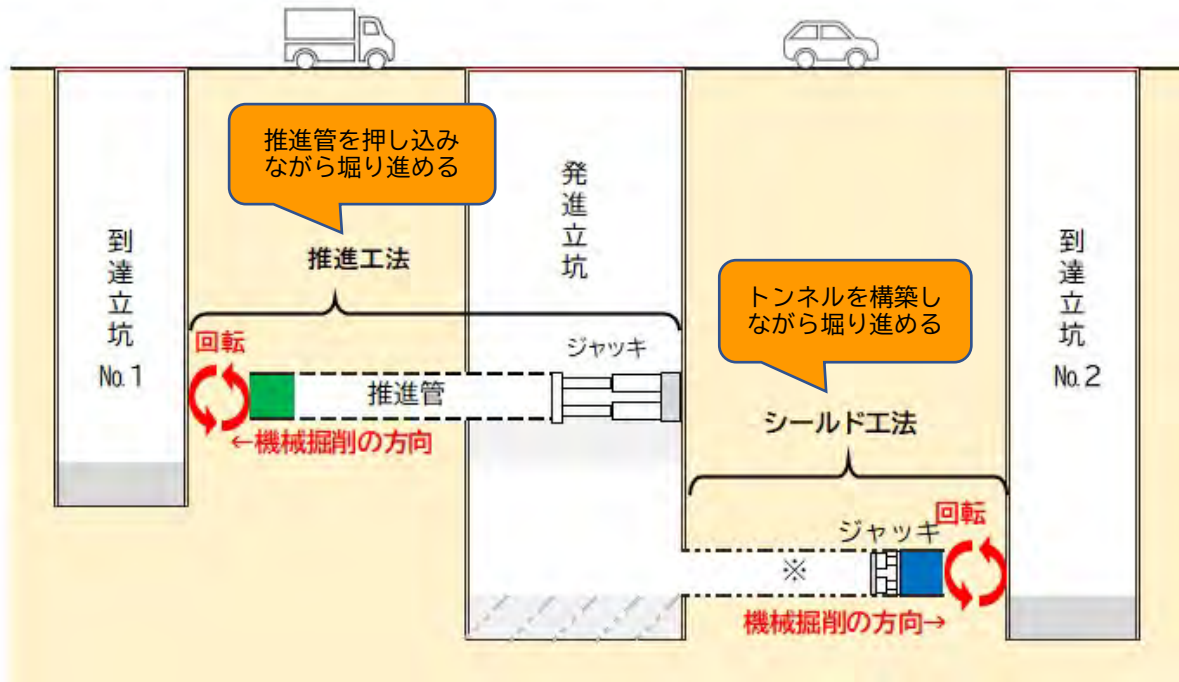


写真①：推進機回収状況(R7. 6. 9 撮影)



写真②：シールド機設置状況(R7. 11. 27 撮影)

## 推進工法及びシールド工法のイメージ図



※掘削したトンネルの内壁をコンクリートなどで支える

## ■ 水資源機構だより

### ● 両筑平野用水（江川ダム）管理開始 50 周年記念式典の開催

両筑平野用水(江川ダム)が管理を開始して 50 年という節目にあたり、これまで支えてくださった地域の皆様への感謝と、未来の 50 年に向けての展望について伝えることを目的として、令和7年12月7日(日)、福岡県朝倉市の旧甘木・朝倉市町村会館「希声館」において両筑平野用水管理開始 50 周年の記念式典を開催いたしました(主催:水資源機構、朝倉市)。

式典では、地元選出の国会議員をはじめとする来賓の皆様より祝辞を賜り江川ダム建設当時の映像や、移転された集落の記録を上映しました。また、地元朝倉市立秋月小学校の19名の児童から、江川ダムの建設により閉校となった江川小学校の校歌斉唱が披露され、会場を温かく包み込みました。

さらに、利水者の代表として、松岡両筑土地改良区理事長及び光山福岡市副市長からは『未来へのメッセージ』が寄せられ、水源地域への感謝や水資源の重要性を後世に引き継いでいきたいとの力強い決意を述べられました。

また、このメッセージを受けて、仲道水資源機構筑後川局長は『これからの管理に向けて』として今後の取り組みへの決意を示し、「これまでの経験を活かし、次の時代に向けて歩みを進めていく」と述べ、式典を締めくくりました。



記念式典



校歌斉唱





仲道局長の挨拶



式典全体の記念写真

## ■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

### 1 月、2 月の予定

#### ●三夜さまさんや（月読つきよみ 神社大祭）〔1/23（金）～25（日）久留米市田主丸町〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

毎年1月 23 日から 25 日までの3日間にわたって行われる

『三夜さま』は、久留米市田主丸町にある月読つきよみ 神社の伝統ある大祭です。

御祭神である月読尊つきよみのみこと は、古くから『目の神様』として信仰されており、『先を読む力』にちなんで、開運や厄除けの神としても多くの人々に崇拝されています。また、月の引力が潮の干満を引き起こすことから、安産、海上安全、五穀豊穡、大漁など、さまざまなご利益があると伝えられています。

祭りの期間中は、境内や参道にたくさんの露店が立ち並び、地元の方々や遠方からの参詣者で大いに賑わいます。冬の澄んだ空気の中、月の神様に願いを込めて参拝してみたいはいかがでしょうか。



月読神社

日 程	令和8年1月23日（金）～25日（日） 9:00～
開催場所	月読神社（久留米市田主丸町田主丸 546-2）
駐車場	無料（久留米市田主丸総合支所 約 30 台）
問い合わせ先	久留米観光コンベンション国際交流協会田主丸事務所 TEL 0943-72-4956 FAX 0943-72-4959

## ●第21回久留米植木まつり《開催予定》〔2/6(金)～2/24(火) 久留米市百年公園〕

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました)

今年で21回目を迎える「久留米植木まつり」が、久留米市百年公園にて開催されます。

久留米市の植木・苗木業は、江戸時代の元禄年間に始まり、300年以上の歴史を誇る伝統産業です。現在では全国有数の一大産地として知られ、多くの園芸ファンや業者から高い評価を受けています。

まつりの期間中は、市内の植木・苗木業者が一堂に集まり、植木や苗木、鉢物などの展示販売が行われます。庭づくりやガーデニングに興味のある方はもちろん、春の訪れを感じたい方にもぴったりのイベントです。



にぎわう植木まつりの会場

日 程	令和8年2月6日(金)～2月24日(火) ※最終日は16:00まで
開催場所	久留米百年公園(久留米市百年公園 2432-1)
駐車場	無料(久留米百年公園内 500台)
問い合わせ先	久留米植木まつり実行委員会事務局 (久留米市田主丸総合支所産業振興課内) TEL 0943-72-2110 FAX 0943-73-2288

## ●第34回筑後吉井おひなさまめぐり〔2/11(水・祝)～3/20(金・祝) うきは市吉井町〕

(うきは市から情報提供いただきました)

春の訪れを告げる風物詩『筑後吉井おひなさまめぐり』が、今年も開催されます。会場となるうきは市吉井町は、江戸時代に有馬藩の城下町・久留米と天領・日田を結ぶ豊後街道の宿場町として栄えた歴史ある町。今もなお、白壁土蔵の美しい町並みが残り、訪れる人々をやさしく迎えてくれます。

期間中は、町内の旧家や商店、公共施設などに、江戸時代から現代に至るまでのさまざまなおひなさまが展示されます。豪華絢爛なものから、珍しいもの、手作りの温もりあふれるものまで、見どころがいっぱいです。

歴史情緒あふれる町並みをゆっくりと散策しながら、ひな人形の美しさと、地域の人々の温かなおもてなしをぜひご堪能ください。



美しいおひなさま

日 程	令和8年2月11日(水・祝)～3月20日(金・祝)
開催場所	うきは市吉井町
問い合わせ先	観光会館「土蔵」 TEL 0943-76-3980 FAX 0943-76-4039

じょうじま  
●第32回 城島 酒蔵びらき〔2/14(土)～2/15(日) 久留米市城島町〕

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました)

九州最大級の早春の酒イベント『城島酒蔵びらき』が、今年も久留米市城島町で開催されます。

『城島の酒』は、江戸時代中期にその歴史を刻み始め、かつては『東の灘、西の城島』と称されるほどの酒どころとして知られてきました。

メイン会場では、『城島の酒飲みくらべ』や『角打ち』のほか、各酒蔵の一般開放も行われ、普段は入れない蔵の中を見学したり、できたての新酒を楽しんだり、蔵元ならではの雰囲気を感じられます。

メイン会場から各酒蔵へはシャトルバスが運行されており、スムーズに移動できます。お酒好きの方はもちろん、地元の文化や歴史にふれたい方にもおすすめのイベントです。



多くの来場者でにぎわう会場

日 時 令和8年2月14日(土)～2月15日(日) 9:30～16:00

開 催 場 所 城島町民の森(久留米市城島町 榎津 764) 及び開放される各酒蔵

問い合わせ先 城島酒蔵びらき実行委員会(事務局:久留米南部商工会内)

TEL 0942-64-3649 FAX 0942-64-4850

●第43回 天領日田おひなまつり〔2/15(日)～3/31(火) 大分県日田市〕

(日田市から情報提供いただきました)

江戸時代、幕府直轄の『天領』として栄えた日田の町。西国筋郡代の役所が置かれ、九州随一の繁栄を誇ったこの地では、掛屋を中心とする豪商たちが活躍し、町人文化が大きく花開きました。

その名残を今に伝えるのが『天領日田おひなまつり』です。京都や大阪から取り寄せた絢爛豪華なひな人形や精巧なひな道具が、日田の旧家に大切に受け継がれており、まつりの期間中は、豆田町や隈町などの歴史ある町並みに点在する旧家や資料館で一斉に展示・公開されます。

白壁の町並みに映える美しいひな人形たちが、訪れる人々を優雅な江戸の世界へと誘います。春の陽気に包まれながら、風情ある町をゆったりと歩き、ひな人形の魅力にふれてみてはいかがでしょうか。



日 程 令和8年2月15日(日)～3月31日(火)

開 催 場 所 大分県日田市豆田町、隈町等の旧家や資料館

問い合わせ先 一般社団法人日田市観光協会

TEL 0973-22-2036 FAX 0973-22-2444



## ■ 水道管の凍結防止策

### ○ 低温注意報が発令されたら ～水道管の凍結・破裂にご注意を～

冬の厳しい冷え込みにより、水道管の凍結や破裂などの被害が発生するおそれがあります。

福岡管区气象台から「低温注意報」が発令された際には、特にご注意ください。

福岡管区气象台  
のホームページ



特に凍りやすい水道管は次の3つ！

- ・屋外に露出している
  - ・風当たりが強く、日陰にある
  - ・北側に設置されている
- 気をつけてね！！



### ○ 冬の冷え込みが厳しいときは、以下の対策を行いましょう。

#### 〔 家庭でできる凍結防止策 〕

- ・露出している水道管や蛇口に保温チューブ（市販品）を巻く
- ・タオルを巻いたうえからビニール袋などで防水する
- ・メーターボックス内には、新聞紙を丸めてビニール袋に入れたものを詰め、上からタオルをかけて保温する

※寒波が過ぎた後は、保温材を取り除くのを忘れずに！

#### 〔 水道管が凍ってしまったときは… 〕

- ・凍った部分にタオルなどをかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりとかける

※熱湯をかけると破裂の原因になりますのでご注意ください！

#### 〔 水道管が破裂した場合は… 〕

- ・メーターボックス内の元せん（バルブ）を閉めて水を止める
- ・破裂箇所に布やテープをしっかり巻き、市町等の指定給水装置工事業者に修理を依頼する

※水道メーターから宅内の修理費用は自己負担となります

## 水源情報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、  
「水源情報」が載っています。  
見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス  
<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



## 編集後記

令和8年の新春を迎え、地域では各地で正月ならではの行事が行われています。その中でも、九州三大祭の一つとして知られる筥崎宮の『玉せせり』は、約500年前の室町時代に始まった伝統神事です。陰陽一対の木製の玉をめくり、陸側と浜側に分かれて争奪戦が繰り広げられ、最終的に玉が本殿へと納められることで、豊作や豊漁が祈願されます。毎年1月3日に行われるこの勇壮な神事は、多くの参拝者で賑わいます。

筥崎宮ほど広く知られてはいませんが、姪浜住吉神社でも長年『玉せせり』の神事が受け継がれてきました。コロナ禍以前までは玉を奪い合う神事が行われていましたが、令和8年は人手不足などの事情により、玉の奉納のみが実施されました。それでも近くの漁港には大漁旗を掲げた漁船が並び、漁師町ならではの活気ある雰囲気にも包まれ、新しい年を地域全体で祝う姿が見られました。

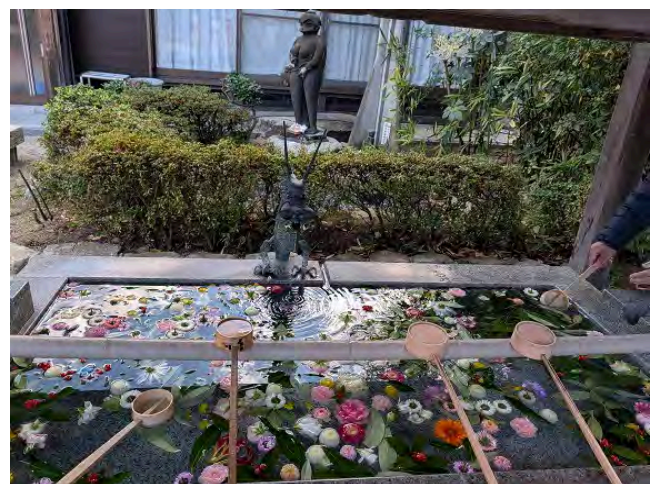


新年を祝って大漁旗を飾った漁船

<川>



姪浜住吉神社



美しい花手水



## ★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、ご感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください

福岡地区水道企業団総務課交流広報係 [kouhou@f-suiki.or.jp](mailto:kouhou@f-suiki.or.jp)

たくさんの情報提供を  
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS [X (旧 Twitter)、Facebook、Instagram] を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすく情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団HP

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 X (旧 Twitter)

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ

YouTube

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Instagram ページ



福岡地区水道企業団

